

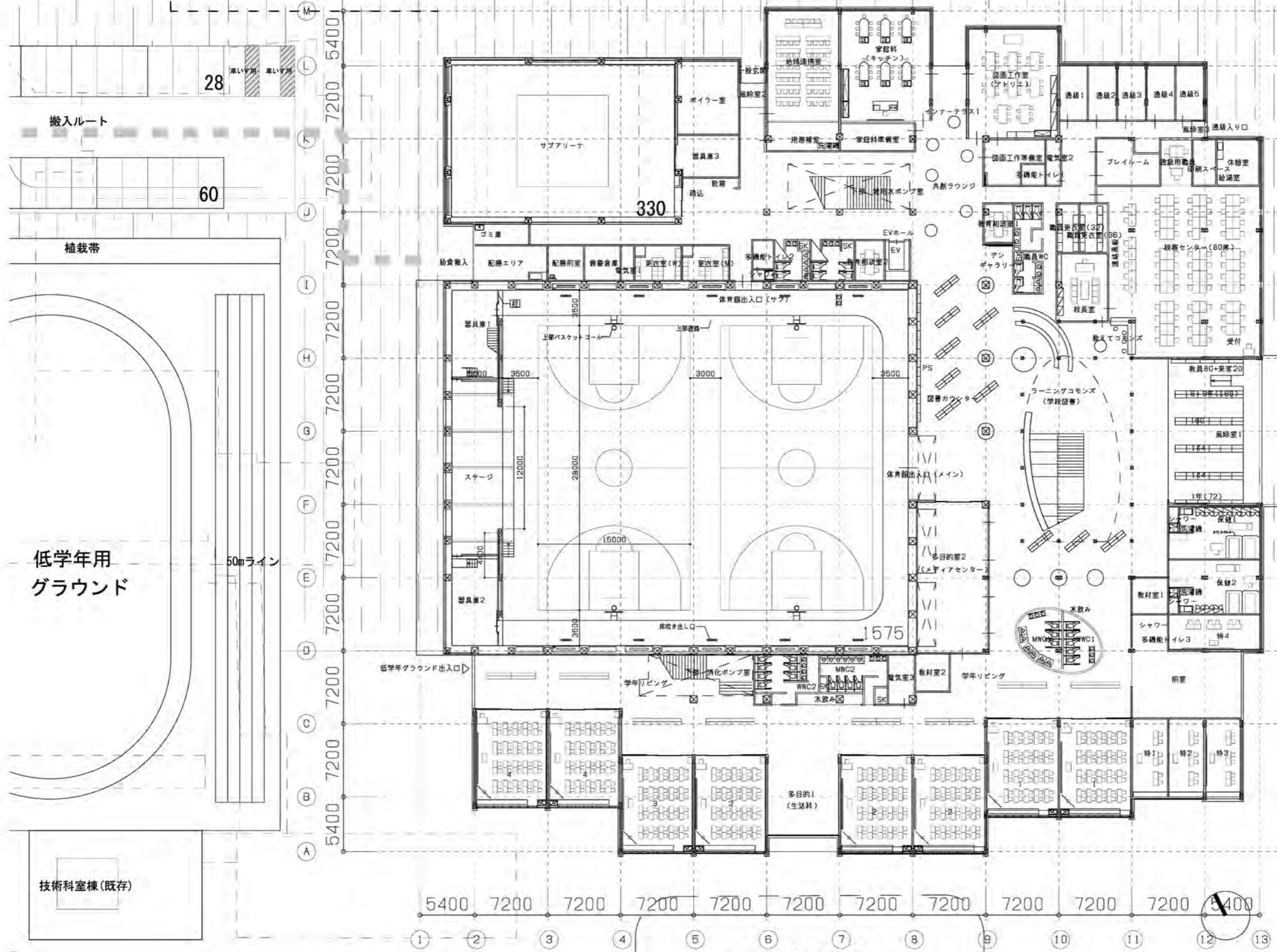
1 新プランについて

	前回プラン (2023年9月)	新プラン (2023年11月)
2階平面イメージ		
1階平面イメージ		

【主な変更箇所】

- ・ 給食の搬入ルートを教室の前から武道場と体育館の間に変更
- ・ エレベーターを給食配膳の経路に移動
- ・ 一般玄関を中学校通り側に移動
- ・ 通級入口を東側に移動、プレイルーム拡大
- ・ エレベーターの移動に伴い2階の特別支援教室を移動
- ・ 来校者用駐車場の台数を30台から60台に拡充

1 新プランについて 1階平面



図書駐機場45台

図書

みんなの植育畑

技術科室棟(既存)

低学年用
グラウンド

植栽帯

搬入ルート

28

60

50mライン

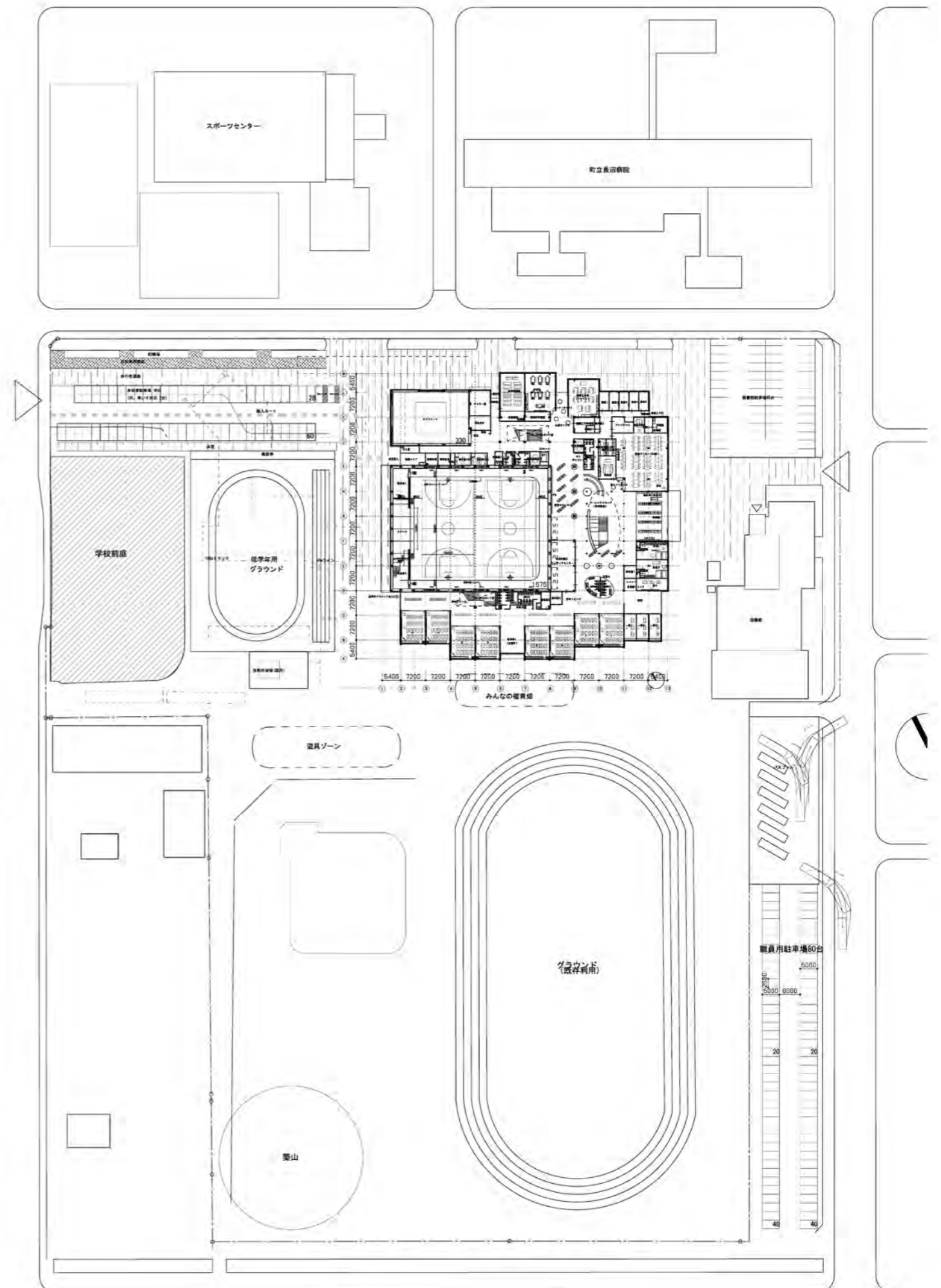
A 5400
B 7200
C 7200
D 7200
E 7200
F 7200
G 7200
H 7200
I 7200
J 7200
K 7200
L 7200
M 5400

1 5400
2 7200
3 7200
4 7200
5 7200
6 7200
7 7200
8 7200
9 7200
10 7200
11 7200
12 7200
13 5400

1 新プランについて 2階平面



1 新プランについて 配置計画



2 設計基本方針について

①冷暖房の計画

夏の冷房計画

教室やサブアリーナにエアコンを設置し冷房します。
具体的な設置対象の部屋は次ページを参照ください。

冬の暖房計画

エアコンによる暖房を基本とし、
体育館はパネルヒーターによる暖房を行います。
具体的な設置対象の部屋は次ページを参照ください。

春、秋の計画

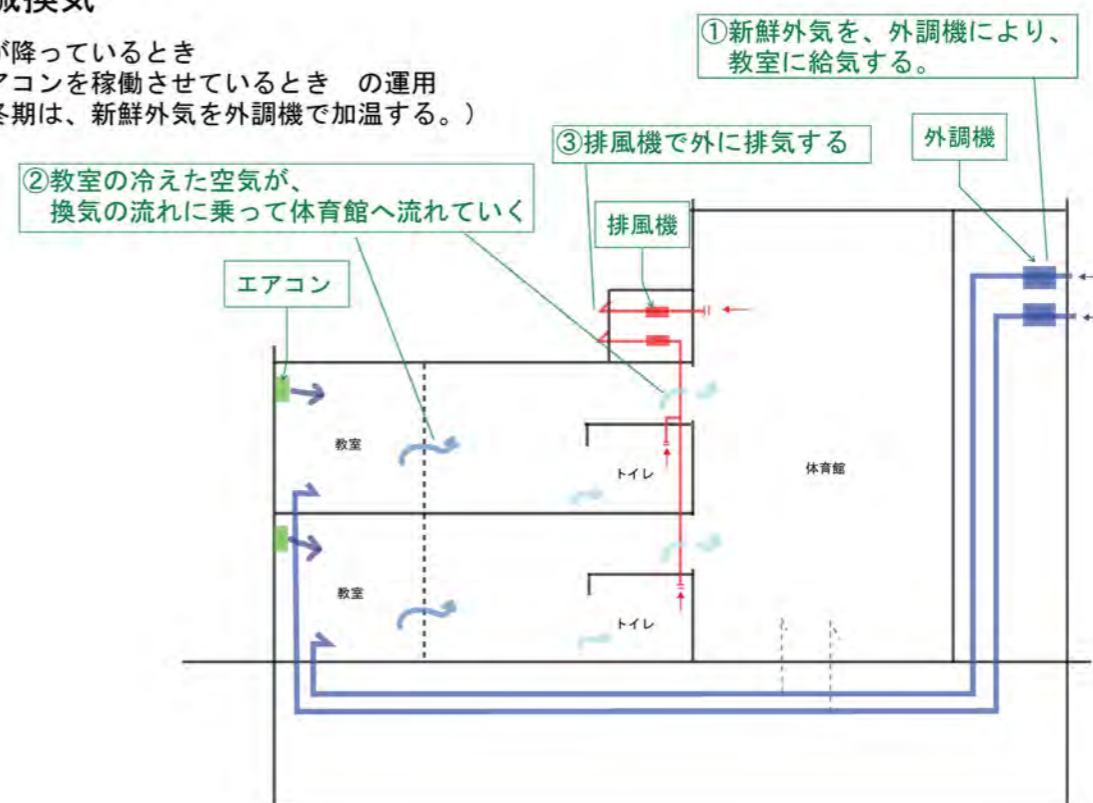
窓による自然換気を行います。
各所のテラスや教室の窓から空気を取り入れ、吹抜けの高窓
や体育館の上部の窓から空気を抜く計画とします。

②換気の計画

冷暖房の期間や雨の日は機械換気を基本とします。
中間期は、窓を介した自然換気でも、新鮮な空気がいきわたるよう計画します。

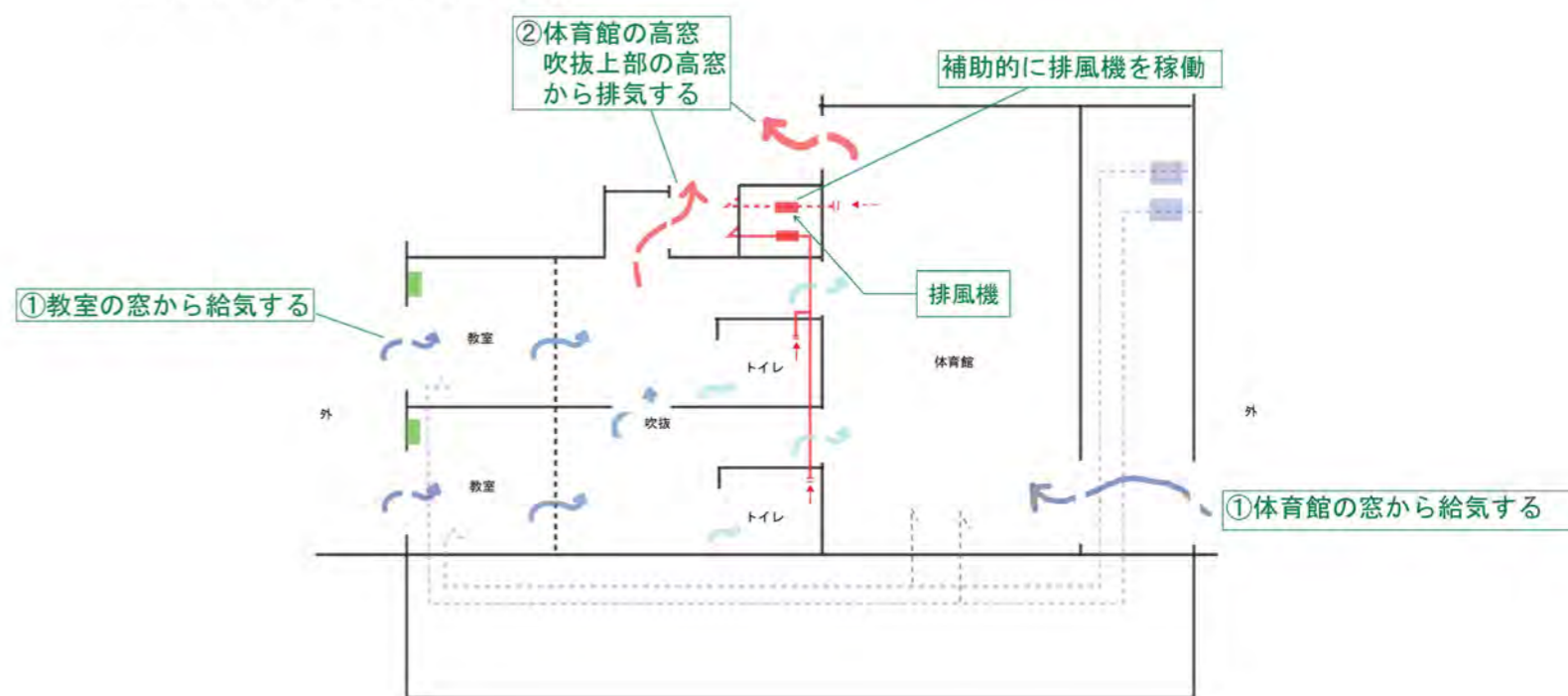
○機械換気

雨が降っているとき
エアコン稼働させているとき の運用
(冬期は、新鮮外気を外調機で加温する。)



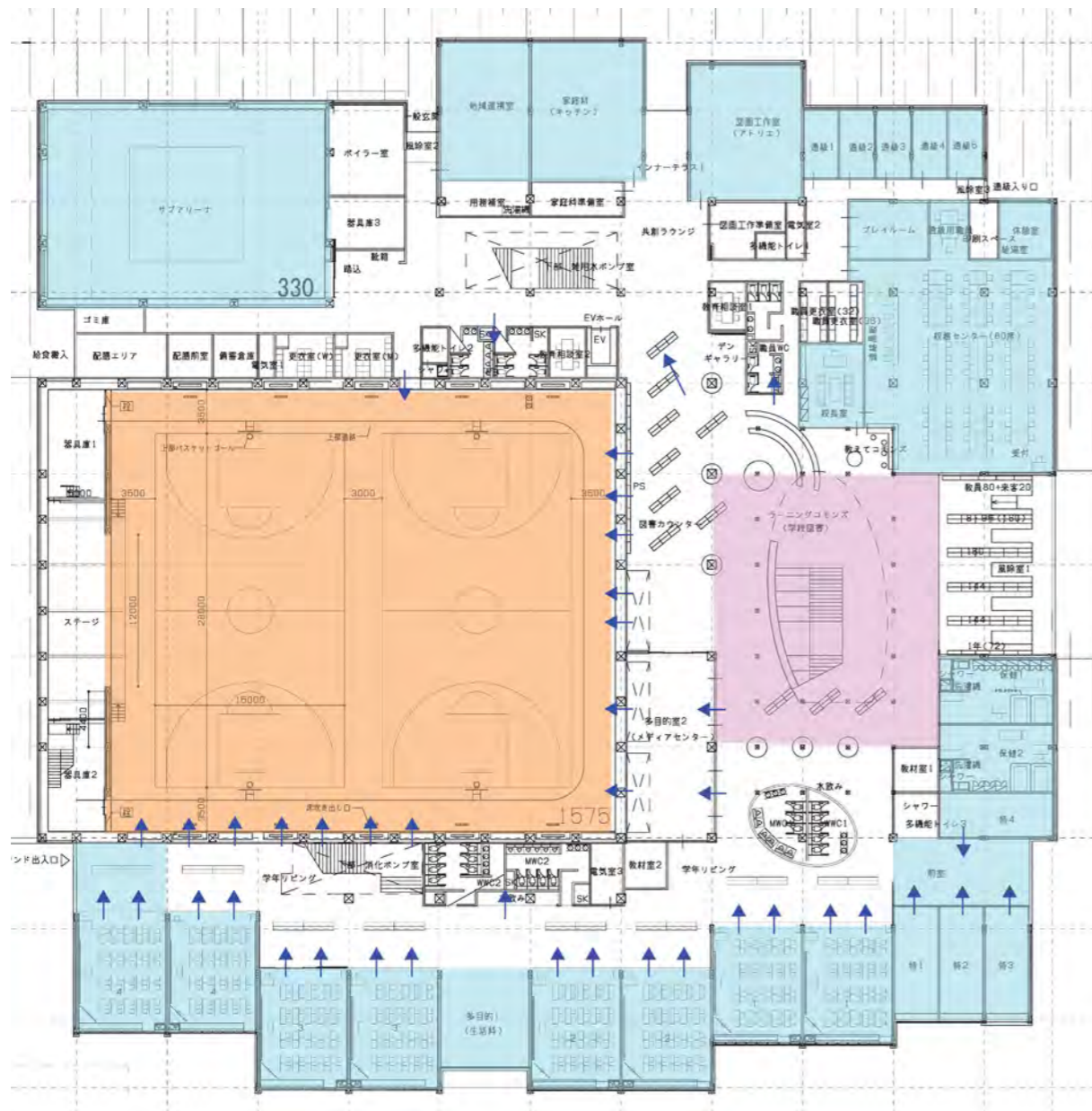
○自然換気・中間期

雨が降っていないとき、
エアコン稼働していないときの運用

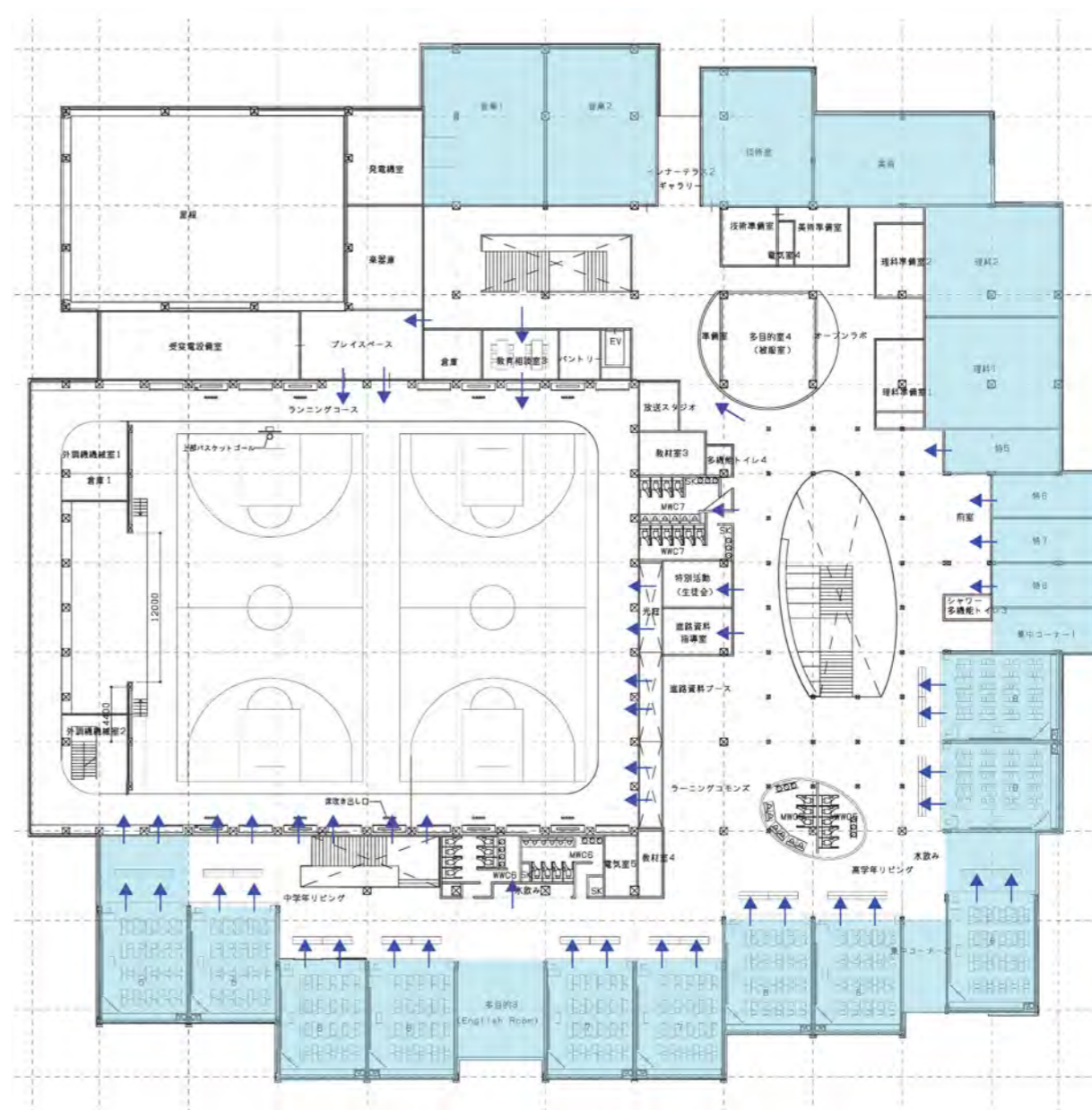


2 設計基本方針について

①冷暖房の計画：空調エリア



1F



2F

- エアコンによる冷暖房
- パネルヒーターによる暖房
- 床暖による暖房
- 空気の流れ

2 設計基本方針について

②トイレについて

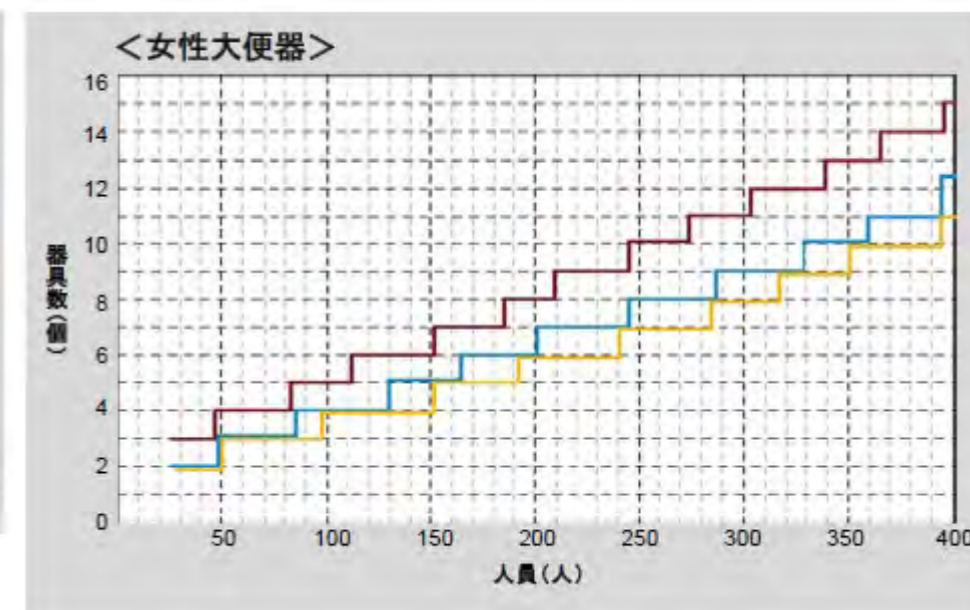
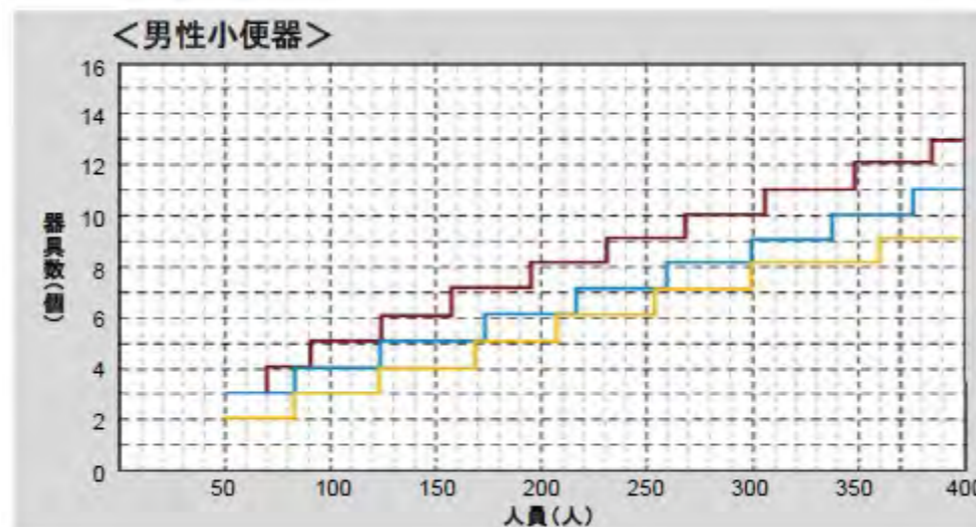
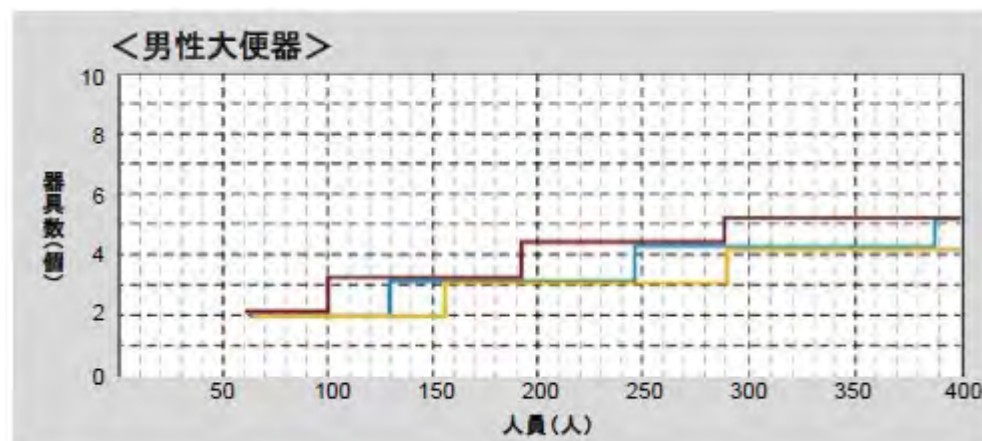
・空気調和衛生工学会の器具算定方法(シミュレーション)のうち、学校の便所器具数算定の最高レベルである、レベル1の器具数をクリアし、かつ、既存の長沼小、中のトイレ機器数に近い水準とします。

通常の学校では、レベル2の水準をクリアする計画とするケースが多いことから、レベル1の器具数で十分な個数であると考えますが、アンケート結果で十分な機器数計画への要望が多いことを受け、レベル1クリア+アルファの設置を計画します。

一方、児童生徒が減少していること、校舎一体化によって利用の効率化を図ることができることから、既存の小学校、中学校の個数の合算より少ない機器数でもトイレの計画上は支障がないものと考えています。

	男子トイレ		女子トイレ	多機能トイレ
	小便器	大便器	大便器	
長沼義務教育学校 (2023年11月時点)	33	22	33	5(内、特支2)
空気調和衛生工学会基準レベル1	28	18	29	-
空気調和衛生工学会基準レベル2	22	15	23	-
長沼小・中学校合算	38	26	37	0

参考：空気調和衛生工学会



2 設計基本方針について

②トイレについて

男子トイレの個室化について

・男子トイレについて、大便器を使用するとからかわれる、という理由から、学校での排便を我慢してしまい健康被害につながる、という考えから、男子トイレの小便器を廃止し、すべて個室化してはどうか、という意見がありました。

男子トイレ 個室化	メリット	デメリット
	学校での排便の我慢が起きにくくなる可能性がある	ブースの分広い面積が必要になる (トイレが同面積とすると、おおむね小便器数に比べ1/3程度となる) 大便器を立てて利用することにより、ブースが汚れる

事例 1

大阪府枚方小学校：一部の男子トイレを個室化

事例 2

福岡市西南学院小学校：すべての男子トイレを個室化 → 個数の不足と掃除手間から、事後的に小便器を導入

尚、北海道内での個室化実績は、調べた限りではありませんでした。

2 設計基本方針について

②トイレについて

【性的多様性に配慮したトイレの計画について】

- ・性別にかかわらず利用できるトイレを計画する
- ・トイレの配置を分散し、人目に付きにくい位置にも計画する

といった配慮が必要であると考えています。

長沼義務教育学校においても

- ・性別にかかわらず利用できる多機能トイレを、各階+地位開放エリアの計3か所計画する。（特別支援教室用を含めると5か所）
- ・地域開放エリア側や特別教室側など、複数のエリアにトイレを分散して計画する。

という方針を計画中です。



多目的トイレ入り口に前室を設け、人目につきにくくした事例



出入口前に水場を設け、視線を遮っている事例

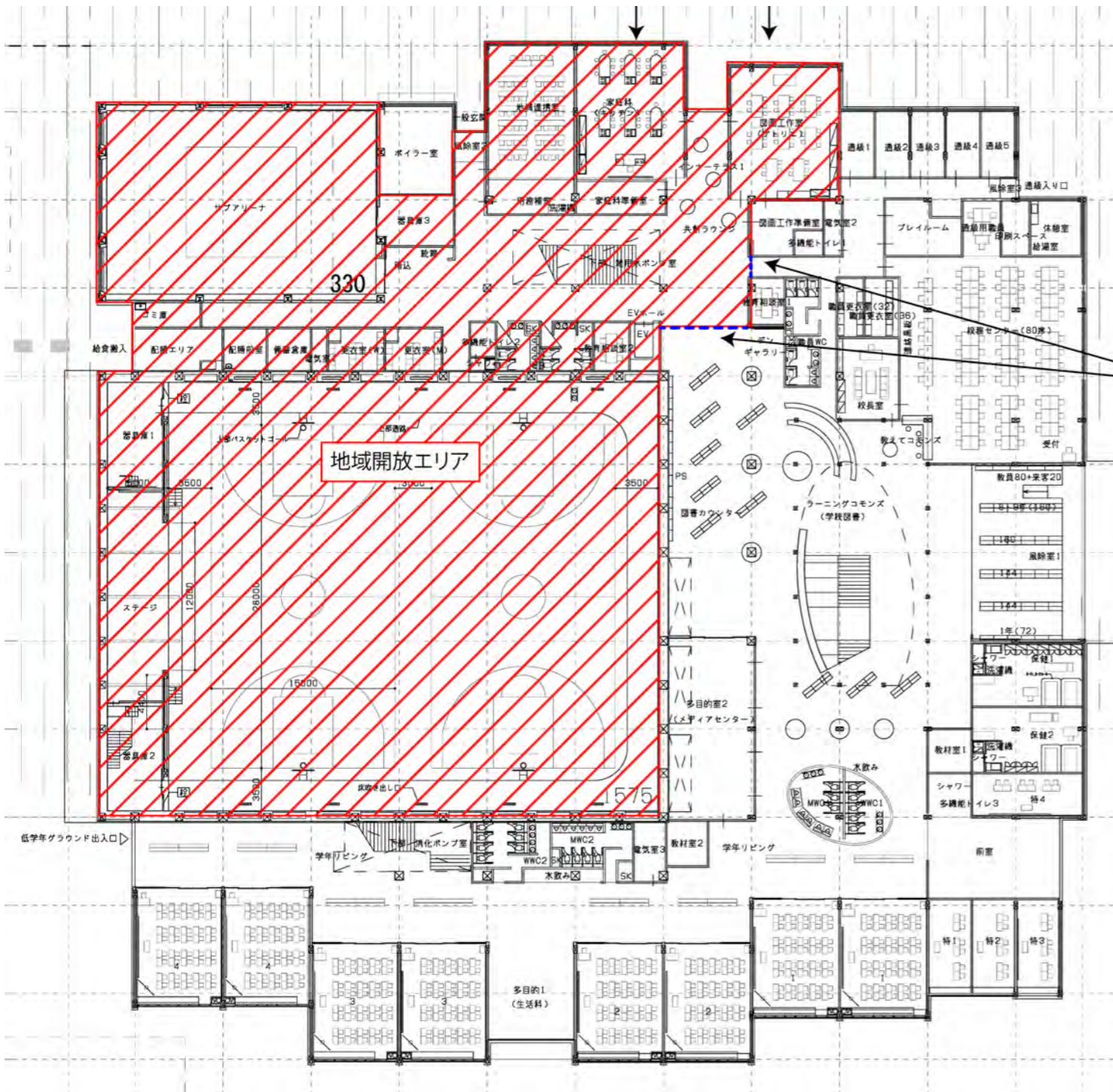


計画の基本方針

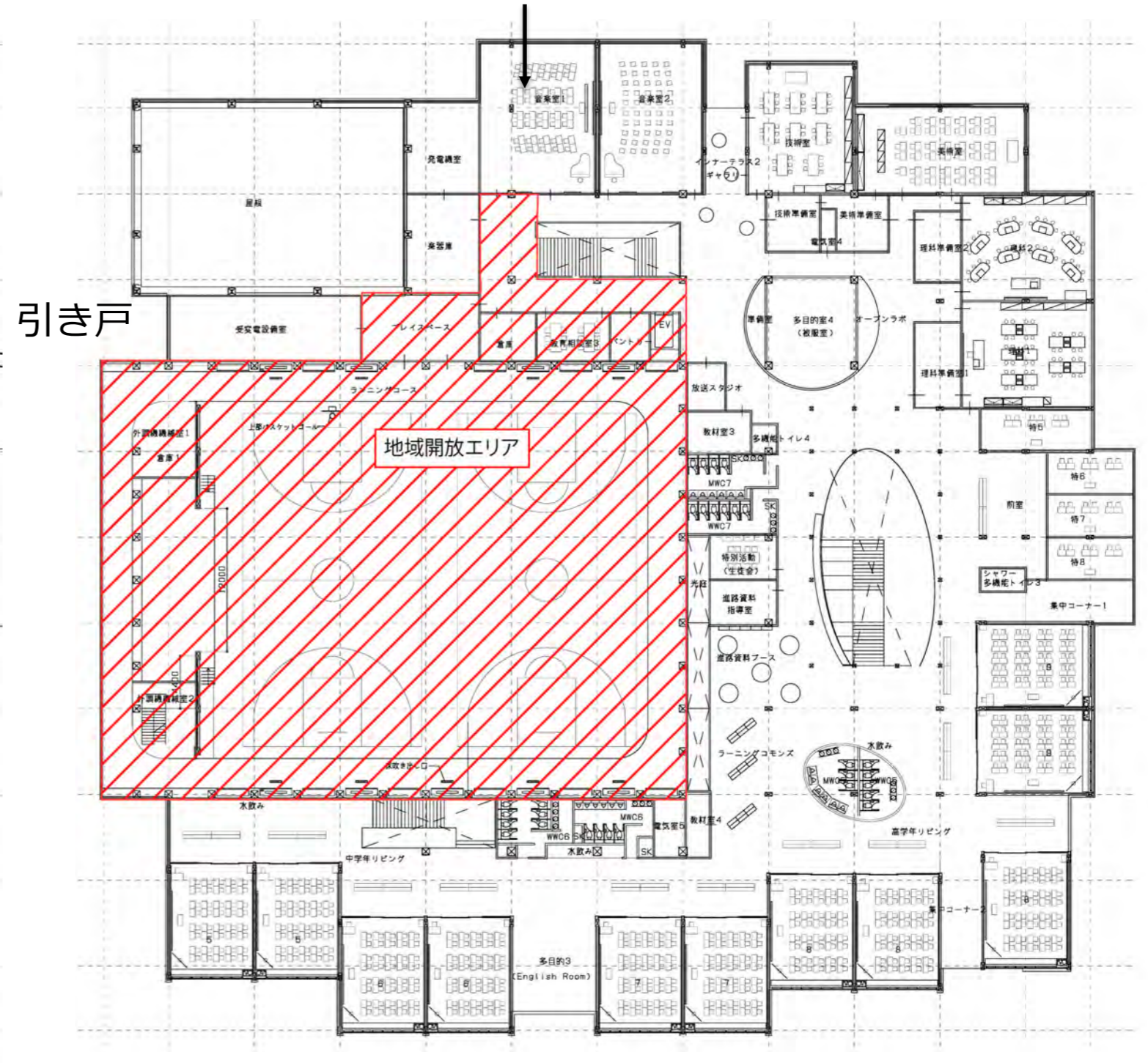
③地域開放とセキュリティについて

直接の出入も可能

音楽室を開放利用範囲とすることも可能



1階平面



2階平面